

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2026年9月4日まで（2016年11月16日設定）	
運用方針	新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界銀行が発行する新興国通貨建て債券に投資を行います。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 マザーファンドにおいて、債券等の運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

新興国通貨建て
世界銀行債券オープン

第22期（決算日：2022年6月6日）

第23期（決算日：2022年9月6日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「新興国通貨建て世界銀行債券オープン」は、去る9月6日に第23期の決算を行いましたので、法令に基づいて第22期～第23期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率			
	円		円		%	%	百万円
14期(2020年6月8日)	8,520		150	1.6	93.0	—	1,232
15期(2020年9月7日)	7,876		150	△ 5.8	92.8	—	1,114
16期(2020年12月7日)	7,940		150	2.7	92.9	—	1,108
17期(2021年3月8日)	7,871		150	1.0	91.5	—	1,085
18期(2021年6月7日)	8,037		150	4.0	94.2	—	1,083
19期(2021年9月6日)	7,948		150	0.8	91.6	—	1,067
20期(2021年12月6日)	7,479		150	△ 4.0	92.0	—	993
21期(2022年3月7日)	6,950		150	△ 5.1	94.0	—	899
22期(2022年6月6日)	7,693		150	12.8	92.7	—	923
23期(2022年9月6日)	7,812		150	3.5	88.1	—	530

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第22期	(期 首) 2022年3月7日	円 6,950		% —	% 94.0	% —
	3月末	7,397		6.4	93.1	—
	4月末	7,588		9.2	94.4	—
	5月末	7,669		10.3	90.4	—
	(期 末) 2022年6月6日	7,843		12.8	92.7	—
第23期	(期 首) 2022年6月6日	7,693		—	92.7	—
	6月末	7,751		0.8	92.3	—
	7月末	7,616		△ 1.0	86.2	—
	8月末	7,881		2.4	86.1	—
	(期 末) 2022年9月6日	7,962		3.5	88.1	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

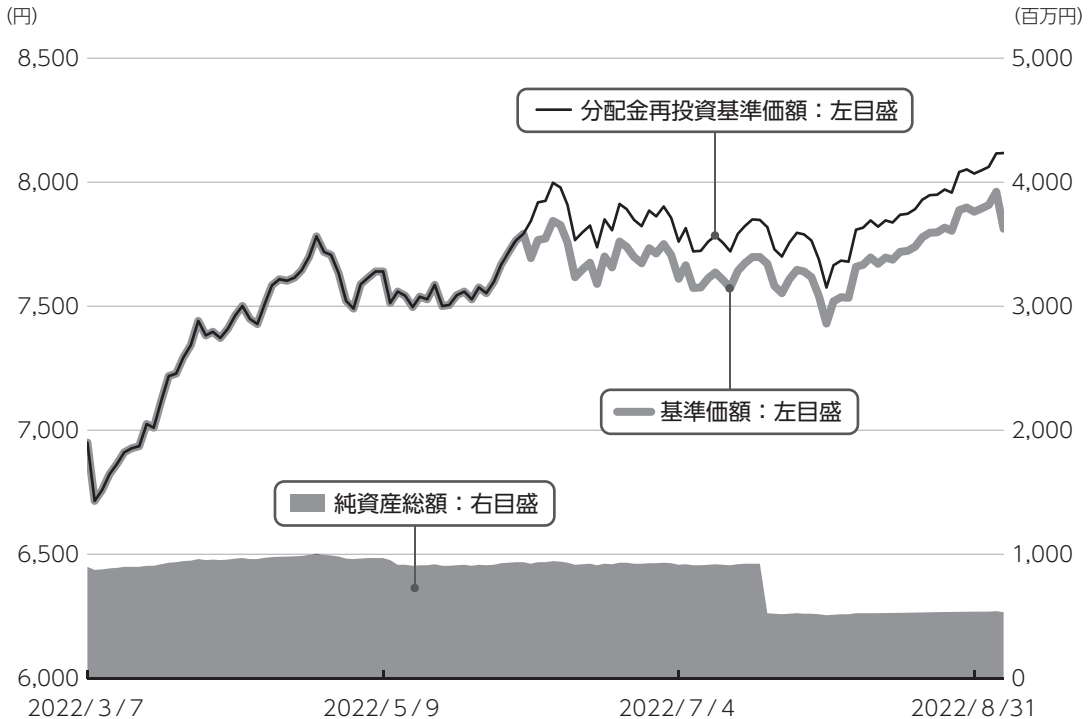
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第22期～第23期：2022年3月8日～2022年9月6日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第22期首	6,950円
第23期末	7,812円
既払分配金	300円
騰落率	16.8%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ16.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

債券の利子収入を獲得したことや、一部の国を除いた新興国通貨が対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

一部の国を除いた新興国債券の金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第22期～第23期：2022年3月8日～2022年9月6日

投資環境について

▶ 債券市況

新興国債券市況を主要新興国の短期の国債金利で見ると、概ね上昇しました。

米国金利の上昇等が、新興国債券市況へはマイナスに影響し、主要新興国の短期の国債金利は多くの国で上昇しました。

▶ 為替市況

新興国の為替市況は多くの国で対円で上昇しました。

ブラジルリアルやメキシコペソなどが相対的に大きく上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 新興国通貨建て世界銀行債券オープン

新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンドへの投資を通じて、世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を高位に組み入れる運用を行いました。

▶ 新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド

世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を高位に組み入れる運用を行いました。通貨配分や銘柄選択にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーションなどを総合的に勘案して行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第22期 2022年3月8日～2022年6月6日	第23期 2022年6月7日～2022年9月6日
当期分配金（対基準価額比率）	150 (1.913%)	150 (1.884%)
当期の収益	115	91
当期の収益以外	34	59
翌期繰越分配対象額	499	440

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 新興国通貨建て世界銀行債券オープン

新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンドへの投資を通じて、世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を高位に組み入れ、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざす運用を行います。

▶ 新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド

ロシアによるウクライナ侵攻および、そ

れに伴うロシアへの経済制裁の影響、世界的なインフレには注視が必要であると考えています。その中でも構造改革の進展やファンダメンタルズの改善が見込まれる国等に対して投資妙味があると考えます。

通貨配分や銘柄選択にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーション、流動性、分散効果等を総合的に勘案して行う方針です。

2022年3月8日～2022年9月6日

1万口当たりの費用明細

項目	第22期～第23期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	52	0.684	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(29)	(0.386)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(21)	(0.276)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.016	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.014)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	53	0.700	

作成期中の平均基準価額は、7,571円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

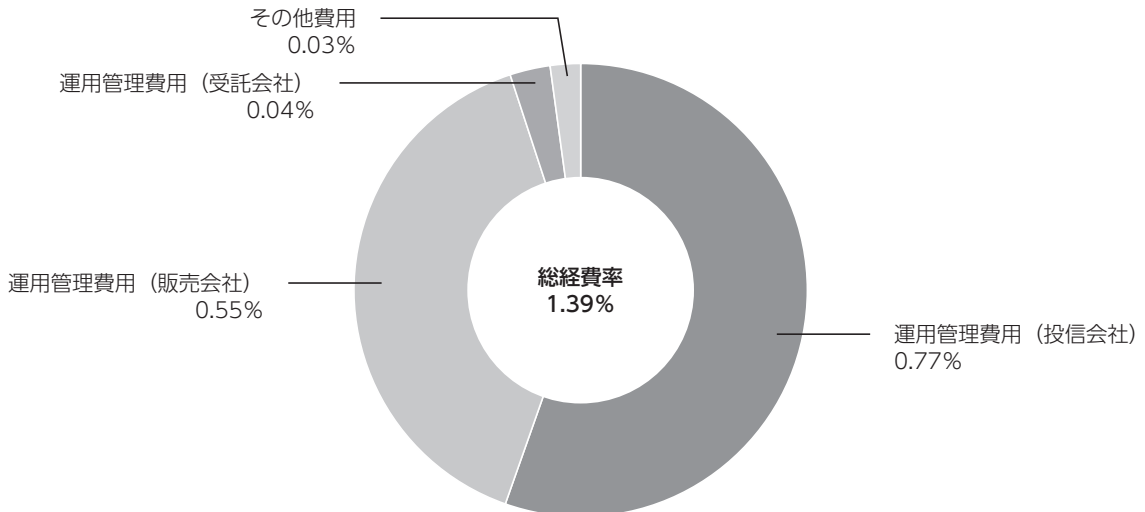
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.39%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月8日～2022年9月6日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第22期～第23期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 422,396	千円 507,090

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月8日～2022年9月6日)

利害関係人との取引状況

<新興国通貨建て世界銀行債券オープン>

該当事項はございません。

<新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド>

区 分	第22期～第23期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	うち利害関係人 との取引状況D	D C		
為替直物取引	百万円 —	% —	百万円 65	百万円 1,487	% 4.4	

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2022年9月6日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第21期末	第23期末	
	口 数	口 数	評 価 額
新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド	千口 836,439	千口 414,043	千円 520,660

○投資信託財産の構成

(2022年9月6日現在)

項 目	第23期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド	520,660	95.8
コール・ローン等、その他	22,688	4.2
投資信託財産総額	543,348	100.0

(注) 新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(509,221千円)の投資信託財産総額(528,884千円)に対する比率は96.3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=140.27円	1 メキシコペソ=7.0368円	1 ブラジルレアル=27.2128円	100コロンビアペソ=3.1341円
100インドネシアルピア=0.94円	1 インドルピー=1.77円	1 南アフリカランド=8.22円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第22期末	第23期末
	2022年6月6日現在	2022年9月6日現在
	円	円
(A) 資産	949,478,131	543,348,100
コール・ローン等	37,544,873	14,458,035
新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド(評価額)	911,933,258	520,660,065
未収入金	—	8,230,000
(B) 負債	26,282,713	12,674,612
未払収益分配金	18,000,459	10,190,041
未払解約金	5,075,160	1,652
未払信託報酬	3,197,018	2,475,148
未払利息	49	20
その他未払費用	10,027	7,751
(C) 純資産総額(A-B)	923,195,418	530,673,488
元本	1,200,030,621	679,336,095
次期繰越損益金	△ 276,835,203	△148,662,607
(D) 受益権総口数	1,200,030,621口	679,336,095口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,693円	7,812円

○損益の状況

項 目	第22期		第23期	
	2022年3月8日～ 2022年6月6日		2022年6月7日～ 2022年9月6日	
		円		円
(A) 配当等収益	△	536	△	952
受取利息		—		3
支払利息	△	536	△	955
(B) 有価証券売買損益	110,322,590		20,722,103	
売買益	115,796,281		21,137,537	
売買損	△ 5,473,691		△ 415,434	
(C) 信託報酬等	△ 3,207,045		△ 2,482,899	
(D) 当期損益金(A+B+C)	107,115,009		18,238,252	
(E) 前期繰越損益金	△368,146,101		△156,083,921	
(F) 追加信託差損益金	2,196,348		△ 626,897	
(配当等相当額)	(62,226,970)		(33,876,337)	
(売買損益相当額)	(△ 60,030,622)		(△ 34,503,234)	
(G) 計(D+E+F)	△258,834,744		△138,472,566	
(H) 収益分配金	△ 18,000,459		△ 10,190,041	
次期繰越損益金(G+H)	△276,835,203		△148,662,607	
追加信託差損益金	△ 203,713		△ 4,634,980	
(配当等相当額)	(59,843,457)		(29,873,703)	
(売買損益相当額)	(△ 60,047,170)		(△ 34,508,683)	
分配準備積立金	68,523		40,554	
繰越損益金	△276,700,013		△144,068,181	

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首（前作成期末）元本額 1,294,193,676円

 作成期中追加設定元本額 9,177,466円

 作成期中一部解約元本額 624,035,047円

また、1口当たり純資産額は、作成期末0.7812円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は148,662,607円です。

③分配金の計算過程

項 目	2022年3月8日～ 2022年6月6日	2022年6月7日～ 2022年9月6日
費用控除後の配当等収益額	13,838,947円	6,183,849円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円
収益調整金額	62,243,518円	33,881,786円
分配準備積立金額	1,829,974円	38,663円
当ファンドの分配対象収益額	77,912,439円	40,104,298円
1万口当たり収益分配対象額	649円	590円
1万口当たり分配金額	150円	150円
収益分配金金額	18,000,459円	10,190,041円

④「新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の35以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

	第22期	第23期
1 万口当たり分配金（税込み）	150円	150円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド

《第12期》決算日2022年9月6日

[計算期間：2022年3月8日～2022年9月6日]

「新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド」は、9月6日に第12期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として世界銀行が発行する新興国通貨建て債券に投資を行います。 債券等への投資にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーション、流動性、分散効果等を総合的に勘案して選定を行います。 投資する債券の残存期間は3年未満とします。 債券等の運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクに運用指図に関する権限を委託します。 債券等の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 総 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
8期(2020年9月7日)	10,524	△	3.6	93.6	—	1,103
9期(2021年3月8日)	11,005		4.6	93.3	—	1,065
10期(2021年9月6日)	11,621		5.6	93.0	—	1,051
11期(2022年3月7日)	10,652	△	8.3	94.9	—	890
12期(2022年9月6日)	12,575		18.1	89.8	—	520

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2022年 3 月 7 日	円 10,652	% —	% 94.9	% —
3 月末	11,359	6.6	94.8	—
4 月末	11,673	9.6	96.3	—
5 月末	11,811	10.9	91.9	—
6 月末	12,191	14.4	93.4	—
7 月末	11,998	12.6	87.7	—
8 月末	12,442	16.8	88.1	—
(期 末) 2022年 9 月 6 日	円 12,575	18.1	89.8	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

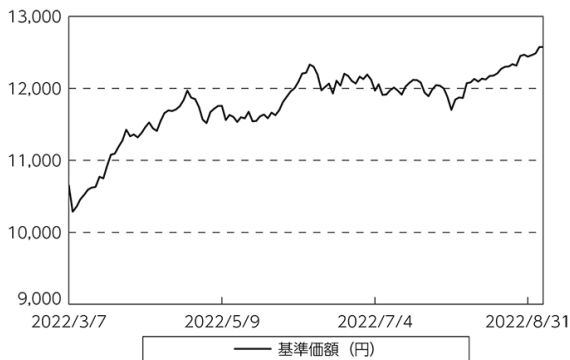
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ18.1%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券の利子収入を獲得したことや、一部の国を除いた新興国通貨が対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

一部の国を除いた新興国債券の金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・新興国債券市況を主要新興国の短期の国債金利で見ると、概ね上昇しました。
- ・米国金利の上昇等が、新興国債券市況へはマイナスに影響し、主要新興国の短期の国債金利は多くの国で上昇しました。

◎為替市況

- ・新興国の為替市況は多くの国で対円で上昇しました。
- ・ブラジルリアルやメキシコペソなどが相対的に大きく上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を高位に組み入れる運用を行いました。
- ・通貨配分や銘柄選択にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーションなどを総合的に勘案して行いました。

○今後の運用方針

- ・ロシアによるウクライナ侵攻および、それに伴うロシアへの経済制裁の影響、世界的なインフレには注視が必要であると考えています。中でも構造改革の進展やファンダメンタルズの改善が見込まれる国等に対して投資妙味があると考えます。
- ・通貨配分や銘柄選択にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーション、流動性、分散効果等を総合的に勘案して行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年3月8日～2022年9月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 2 (2)	% 0.014 (0.014)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	2	0.014	
期中の平均基準価額は、11,792円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月8日～2022年9月6日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	メキシコ	特殊債券	千メキシコペソ -	千メキシコペソ 18,352
	ブラジル	特殊債券	千ブラジルレアル 1,291	千ブラジルレアル 3,121
	コロンビア	特殊債券	千コロンビアペソ 1,654,539	千コロンビアペソ 1,047,250
	トルコ	特殊債券	千トルコリラ -	千トルコリラ 2,127
	ロシア	特殊債券	千ロシアルーブル -	千ロシアルーブル 51,342
国	インドネシア	特殊債券	千インドネシアルピア -	千インドネシアルピア 11,687,640
	インド	特殊債券	千インドルピー 71,475	千インドルピー 121,479 (35,500)
	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカランド 2,024	千南アフリカランド 4,216

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月8日～2022年9月6日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	982	—	—	1,487	65	4.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2022年9月6日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 19,500	千メキシコペソ 19,257	千円 135,509	% 26.0	% —	% —	% —	% 26.0
ブラジル	千ブラジルリアル 3,235	千ブラジルリアル 3,032	82,524	15.9	—	—	—	15.9
コロンビア	千コロンビアペソ 1,400,000	千コロンビアペソ 1,265,600	39,665	7.6	—	—	—	7.6
インドネシア	千インドネシアルピア 9,800,000	千インドネシアルピア 9,969,050	93,709	18.0	—	—	—	18.0
インド	千インドルピー 46,000	千インドルピー 44,577	78,902	15.2	—	—	15.2	—
南アフリカ	千南アフリカランド 4,500	千南アフリカランド 4,505	37,035	7.1	—	—	—	7.1
合 計	—	—	467,346	89.8	—	—	15.2	74.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	額面金額	当 期 末		償還年月日
				評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
メキシコ	特殊債券 7 IBRD 230124	7.0	千メキシコペソ 19,500	千メキシコペソ 19,257	千円 135,509	2023/1/24
小	計				135,509	
ブラジル	特殊債券 6.75 IBRD 240204	6.75	千ブラジルリアル 3,235	千ブラジルリアル 3,032	82,524	2024/2/4
小	計				82,524	
コロンビア	特殊債券 2.9 IBRD 231222	2.9	千コロンビアペソ 1,400,000	千コロンビアペソ 1,265,600	39,665	2023/12/22
小	計				39,665	
インドネシア	特殊債券 7.25 IBRD 240315	7.25	千インドネシアルピア 9,800,000	千インドネシアルピア 9,969,050	93,709	2024/3/15
小	計				93,709	
インド	特殊債券 4.8 IBRD 250205	4.8	9,000	8,235	14,577	2025/2/5
	6 IBRD 250116	6.0	37,000	36,342	64,325	2025/1/16
小	計				78,902	
南アフリカ	特殊債券 7 IBRD 230607	7.0	千南アフリカランド 4,500	千南アフリカランド 4,505	37,035	2023/6/7
小	計				37,035	
合	計				467,346	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2022年9月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 467,346	% 88.4
コール・ローン等、その他	61,538	11.6
投資信託財産総額	528,884	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(509,221千円)の投資信託財産総額(528,884千円)に対する比率は96.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=140.27円	1メキシコペソ=7.0368円	1ブラジルリアル=27.2128円	100コロンビアペソ=3.1341円
100インドネシアルピア=0.94円	1インドルピー=1.77円	1南アフリカランド=8.22円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月6日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	528,884,168
コール・ローン等	46,429,411
公社債(評価額)	467,346,142
未収利息	13,129,521
前払費用	1,979,094
(B) 負債	8,230,028
未払解約金	8,230,000
未払利息	28
(C) 純資産総額(A-B)	520,654,140
元本	414,043,790
次期繰越損益金	106,610,350
(D) 受益権総口数	414,043,790口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,575円

<注記事項>

- ①期首元本額 836,439,818円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 422,396,028円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2575円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 新興国通貨建て世界銀行債券オープン 414,043,790円

○損益の状況 (2022年3月8日～2022年9月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	23,823,781
受取利息	23,825,120
支払利息	△ 1,339
(B) 有価証券売買損益	113,082,452
売買益	148,232,012
売買損	△ 35,149,560
(C) 保管費用等	△ 118,032
(D) 当期損益金(A+B+C)	136,788,201
(E) 前期繰越損益金	54,516,121
(F) 解約差損益金	△ 84,693,972
(G) 計(D+E+F)	106,610,350
次期繰越損益金(G)	106,610,350

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。